

通信テキスト(1次レベル)販売案内

1.販売価格

1次レベル		受講者	検定会員
1冊販売		1,100円	1,300円
全冊定期販売	証券分析 全冊(9冊)	8,000円	10000円
	財務分析 全冊(8冊)	7,200円	9,200円
	経済 全冊(8冊)	7,200円	9,200円

2. 通信テキストタイトル・執筆者

(1)証券分析トポートフォリオ・マネジメント

テキストタイトル	執筆者(敬称略)	発行(予定)
①証券分析とポートフォリオ・マネジメントの基礎	鈴木行生 (日本ベル投資研究所)	6月
②計量分析と統計学(1)	小林孝雄 (青山学院大学)、本多俊毅(一橋大学)	6月
③現代ポートフォリオ理論	小林孝雄 (青山学院大学)、本多俊毅(一橋大学)	7月
④証券市場の機能と仕組み	川北英隆 (京都大学)	7月
⑤企業のファンダメンタル分析	薄井 彰 (早稲田大学)	9月
⑥株式分析	高橋文郎 (青山学院大学)	9月
⑦債券分析	金崎芳輔 (東北大学)、後藤 潤(格付投資情報センター)	11月
⑧デリバティブ分析	太田智之 (野村證券)	11月
⑨ポートフォリオ・マネジメント・プロセス	山口勝業 (イットソン・アソシエイツ・ジャパン)、小松原幸明(同)	11月

(2)財務分析

テキストタイトル	執筆者(敬称略)	発行(予定)
①証券アナリストと財務分析	米山 正樹 (早稲田大学)	6月
②主要な財務諸表	伊藤 邦雄 (一橋大学)	6月
③企業会計の仕組み	川本 淳 (学習院大学)	7月
④収益の測定	筒井 知彦 (法政大学)	7月
⑤費用の測定	中條 祐介 (横浜国立大学)	9月
⑥その他の主要会計分野	大雄 智 (横浜国立大学)	9月
⑦財務諸表分析の基礎	桜井 久勝 (神戸大学)	11月
⑧株式価値評価モデル	八重倉 孝 (法政大学)	11月

(2)経済

テキストタイトル	執筆者(敬称略)	発行(予定)
①経済活動と経済分析	川北 英隆 (京都大学)、榎 浩一(ニッセイ基礎研究所)	6月
①-2経済学のための数学	小林孝雄 (青山学院大学)、本多俊毅(一橋大学)	6月
②消費者行動と企業行動	倉澤 資成 (横浜国立大学)	6月
③市場均衡と市場の失敗	倉澤 資成 (横浜国立大学)	7月
④ファイナンスのためのミクロ経済学(1)	大橋 和彦 (一橋大学)	7月
⑤マクロ経済学の基礎	吉川 洋 (東京大学)監修、飯田 泰之(駒澤大学)	9月
⑥金融と財政	鹿野 嘉昭 (同志社大学)	9月
⑦マクロダイナミクス	齊藤 誠 (一橋大学)	11月
⑧国際収支と為替レート	深尾 光洋 (慶應義塾大学)	11月

第1次 通信テキスト目次

証券分析とポートフォリオ・マネジメント

第1回 証券分析とポートフォリオ・マネジメントの基礎

- 第1章 証券投資のリターンとリスク
- 第2章 リターンとリスクの計測
- 第3章 ポートフォリオ理論の基礎

第2回 計量分析と統計学(1)

- 第1章 証券分析で使う数学
- 第2章 統計学の基礎
- 第3章 回帰分析とベータ

第3回 現代ポートフォリオ理論

- 第1章 投資家の選好
- 第2章 ポートフォリオ理論
- 第3章 CAPM
- 第4章 マルチファクター・モデルとAPT
- 第5章 リスクニュートラル・プライシング
- 第6章 市場の効率性

第4回 証券市場の機能と仕組み

- 第1章 証券の種類
- 第2章 証券市場の仕組み
- 第3章 証券発行市場
- 第4章 証券流通市場
- 第5章 証券市場のプレイヤー:証券会社と機関投資家

第5回 企業のファンダメンタル分析

- 第1章 産業分析と企業分析
- 第2章 主要な財務分析指標
- 第3章 主な企業分析手法

第6回 株式分析

- 第1章 配当割引モデル
- 第2章 株式価値算定の3つの等価アプローチ
- 第3章 株式の評価尺度

第7回 債券分析

- 第1章 債券のキャッシュフローとその評価
- 第2章 様々な利回り概念
- 第3章 金利の期間構造
- 第4章 債券投資のリスク
- 第5章 信用リスクと格付け

第8回 デリバティブ分析

- 第1章 デリバティブ分析とは
- 第2章 デリバティブの仕組みと価格形成
- 第3章 わが国のデリバティブ市場
- 第4章 投資戦略への応用

第9回 ポートフォリオ・マネジメント・プロセス

- 第1章 ポートフォリオ・マネジメント・プロセスの概要
- 第2章 アセット・アロケーション
- 第3章 マネジャー・ストラクチャー
- 第4章 個別証券ポートフォリオ
- 第5章 パフォーマンス測定と評価

財務分析

第1回 証券アナリストと財務分析

- 序章 本テキストの概要
- 第1章 投資意思決定プロセスと財務分析
- 第2章 会計情報の役割と限界
- 第3章 日本の会計制度
- 第4章 第1次レベルテキストの全体像—結びに代えて—

第2回 主要な財務諸表

- 第1章 損益計算書
- 第2章 貸借対照表
- 第3章 キャッシュ・フロー計算書
- 第4章 株主資本等変動計算書

第3回 企業会計の仕組み

- 第1章 はじめに
- 第2章 会計プロセスの基本
- 第3章 キャッシュフローの期間配分とストックの評価についての考え方
- 第4章 資本取引と利益の処分
- 第5章 利益とは何か
- 第6章 おわりに

第4回 収益の測定

- 第1章 収益の認識と測定
- 第2章 事業投資の収益
- 第3章 有価証券の会計
- 第4章 デリバティブの会計

第5回 費用の測定

- 第1章 費用の認識と測定
- 第2章 棚卸資産の原価配分
- 第3章 有形固定資産の減価償却
- 第4章 資産の評価損と減損処理
- 第5章 リース取引(借手側)

第6回 その他の主要会計分野

- 第1章 退職給付会計
- 第2章 税効果会計
- 第3章 企業結合会計(1)—合併・買収の会計—
- 第4章 企業結合会計(2)—連結の会計—
- 第5章 外貨換算会計

第7回 財務諸表分析の基礎

- 序章 財務諸表分析の目的と視点
- 第1章 基準化された数値による比較
- 第2章 収益性の分析
- 第3章 安全性の分析
- 第4章 売上高・利益増減の要因分析
- 第5章 成長性の分析
- 第6章 株主の視点と債権者の視点

第8回 株式価値評価モデル

- 第1章 配当割引モデル(DDM)と株式価値評価DCFモデル
- 第2章 残余利益(RI)モデル

経済

第1回 経済活動と経済分析

- 第1章 はじめに
- 第2章 現代の経済活動(概観)
- 第3章 経済活動と証券投資の関係
- 第4章 国の経済
- 第5章 日本の国民所得と物価

第1回-2 経済学のための数学

- 第1章 はじめに
- 第2章 重要な関数

- 第3章 微分
- 第4章 制約条件付き最適化問題とラグランジュ法

第2回 消費者行動と企業行動

- 第1章 はじめに
- 第2章 消費者行動
- 第3章 企業行動

第3回 市場均衡と市場の失敗

- 第1章 はじめに
- 第2章 市場均衡
- 第3章 不完全競争市場
- 第4章 市場の失敗

第4回 ファイナンスのためのミクロ経済学(1)

- 第1章 はじめに
- 第2章 異時点間の消費決定
- 第3章 不確実性下の選択
- 第4章 ゲーム理論と情報の経済学—序論—

第5回 マクロ経済学の基礎

- 第1章 はじめに
- 第2章 国民所得統計
- 第3章 IS-LM分析
- 第4章 AD-AS分析

第6回 金融と財政

- 第1章 はじめに
- 第2章 金融の基本的な機能
- 第3章 金融市場とその機能
- 第4章 中央銀行と金融政策
- 第5章 財政

第7回 マクロダイナミクス

- 第1章 はじめに
- 第2章 金融政策とインフレーション
- 第3章 経済成長の要因:資本蓄積と技術進歩
- 第4章 資本蓄積と資産価値:ソロー・モデルとラムゼー・モデル
- 第5章 新古典派成長モデルの展開

第8回 国際収支と為替レート

- 第1章 はじめに
- 第2章 国際収支と資本移動
- 第3章 為替レート決定の諸理論
- 第4章 外国為替市場介入の有効性と金融的側面